

カクテルパーティー効果

21611203 篠原 大輔

21611261 角田 信鳳

21611263 坪井 優吾

1、目的

本論の目的はカクテルパーティー効果によってアゴラのポイ捨てを削減できるかどうかを検証する。

2、内容

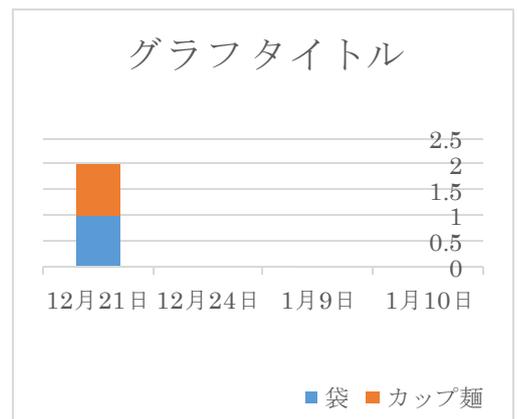
アゴラにいる人に聞こえるか聞こえないか程度の音量でポイ捨て禁止の録音メッセージを流す。その際にカクテルパーティー効果によってポイ捨てしている人に対してはこの警告が耳に入り、ポイ捨てを減らしていくという効果があるか実験する。

3、方法

12月21日と12月24日3限目の後に事前調査を行い実験前のアゴラのポイ捨ての状況を写真に残す。次に50デシベル以下の声量で「ごみ捨てるな」という音声を録音する。1月9日と1月10日の同じ時刻にアゴラでその音声を流し、どれだけポイ捨てが減ったか写真に残す。

4、結果

多少あったポイ捨てが減った。



5、考察

実験の日数が不十分のため、正確な結果は得られなかったがポイ捨てが減った事が認められ、多少の効果があったと考えられる。またもっと人の多い昼休みなどに実験すればより効果が得られたという可能性も考えられた。